

身元不明により施設等に入所している方々の情報について

1 概 要

身元不明により静岡県内の施設等に入所されている方々について、早期に身元判明につなげることを目的として、身元不明の方々の情報を公開しています。

掲載情報についての照会や心当たりがある場合等のお問い合わせは、各市町の担当課までお願いいたします。

2 公開状況

No.	市町名	身元不明者概要		保護 年月	居場所	保護の経緯、身元の手がかり 等
		性別 推定年齢	認知症 の有無			
5	静岡市	女性 80代	有	H17.4	施設	自称する氏名、住所等では戸籍が判明しなかったため、身元不明者として取扱っている。 単身で在宅生活をしていたが、現在は有料老人ホームに入所している。
25	静岡市	女性 40～60代	無	H31.3	施設	H31.3.20、静岡中央警察署生活安全課職員2名と主が葵福祉事務所に来所。京都から東京に向かっていたところ、静岡で下車。静岡駅前交番を訪れ、保護。2月中旬以前の記憶がない。
29	熱海市	女性 推定30代～40代	無	R01.10	入院	R1.10.9、JR伊東線伊豆多賀駅ホームで事故に合うも入院。以前の記憶が全く無い状態にて熱海市で保護。
33	裾野市	男性 推定50代	無	R01.9	在宅	R1.9.9、沼津市内の狩野川河川敷で気が付くも自分の住所や名前を含めた以前の記憶が無く、そのまま手持金を使用し、コンビニで食事を取り、河川敷に留まっていた。R1.9.13 たまたま警察署を見つけたので自ら相談へ行き、保護。
35	熱海市	男性 自称60代	有 (自称)	R3.10	施設	R3.10.11、釣り人を眺めていたら海に落ち漂流、荷物はなくなったが幸い岸に押し戻され歩行中に警察保護されたもの。以前の記憶が全くない状態で熱海市にて保護。
38	浜松市	女性 50代～60代	不明 (記憶障害有)	R6.9	施設	R6.7.18、浜松駅構内の売店でペットボトルの水を購入し、自身にて浜松東警察署へ赴き、それ以前の自身に関する記憶が無く、身元不明人として保護された。 浜松東警察署より社会福祉課へ連絡あり、記憶喪失者として身柄が引き渡される。手持金を所持していたため、本人の同意のもと、緊急一時宿泊を、自費で利用していた。8月中旬になっても記憶戻らず、手持金も減少してきたため、生活保護申請し施設へ入所した。
39	静岡市	男性 65歳～75歳	不明 (記憶障害有)	R6.9	施設	R6.9.11以前の記憶がほとんどなく、断片的に思い出せることがある程度。 東京駅発のバスに乗車して静岡駅にきた。周辺を散策の後、所持金がなかったため駐車場で野宿。体調不良となり、病院に搬送され、警察署に保護された。身分が分かるもの、通帳・キャッシュカードを所持しておらず、手持金も少額。扶養義務者や身元も不明で生活困窮したことから、生活保護申請し施設へ入所した。

40	富士市	男性 20 歳 ～30 歳	不明 (記憶障 害有)	R6. 10	入院	R6. 10. 16 以前の記憶がほとんどなく、気付くと富士宮駅にいた。 公園などで寝泊まりしながら富士宮駅から富士まで徒歩で移動したが、状況を好転するべく警察へ相談したことで、富士市役所に案内され、急迫のため職権保護となった。記憶障害のため入院中である。
41	熱海市	女性 推定70代	不明 (記憶障 害有)	R6. 12	施設	中央交番(熱海サンビーチ)から、「(自分の)名前がわからない」と警察署に相談があった。警察で調査しても、身元が不明なことから、熱海市において保護となった。 保護開始(R6. 12. 7)以前の記憶がなく、施設に入所している。
43	富士市	男性 60 歳 ～70 歳	不明 (記憶障 害有)	R6. 12	施設	令和6年12月、沼津市から富士市に入り、毘沙門天の境内の林の中にいたが、JR 東海道線吉原駅前の公園に移った。警察から後日市役所に相談へ行くように言われ、島田町公園に移ったが、体調不良で動けず、25 日に通行人から救急要請があり入院した。所持金が無く、医療費の支払いも難しく、氏名や生年月日等もわからないと言ったため職権(急迫)保護した。退院後は一時宿泊施設に入所している。
44	静岡市	男性 49 歳	非公開	R6. 9	非公開	令和6年9月3日にさいたま市を発ち、熱海市で資金が尽き、静岡市で保護された。横浜市で生まれ、神奈川、埼玉で日雇いの建設作業に従事していたことを記憶しているが、本人や家族のことに関しては記憶が曖昧である。直近では、さいたま市南区の建設会社(名称等不明)で勤務していた。なお、写真、所持品、健康状態については本人の希望により非公開。

※ 身元が判明した方については、削除(No は通し番号)。